

8/4
(水)

企業間のゆいまーるで支援
お米、卵、ポーク缶詰の寄贈がありました



株式会社アトムホーム(宮平克哉代表取締役CEO)よりお米(3kg)200袋、株式会社前田鶏卵(前田睦己代表取締役社長)より卵130パック、株式会社富村商事(富村朝収代表取締役社長)よりポーク缶詰130缶の寄贈がありました。株式会社アトムホーム宮平宗幸専務取締役は「コロナが収束するまで、宜野湾市から企業間のゆいまーるで取り組みを続けていきたいと思っています」と話しました。

8/5
(水)

6月10日の「商工会の日」を記念して
市内認可保育園にテントの寄贈



宜野湾市商工会(福里清孝会長)より、市内認可保育園(仲原保育園、ぎのわんおひさま保育園)へテントの寄贈がありました。市商工会では、商工会法が施行された6月10日「商工会の日」を記念して、平成26年から私立を含め市内幼稚園や保育園へテントの寄贈を行っています。福里会長は「社会あつての商工会、事業所なのでこれからも皆さんに貢献できるように続けていきたいです」と語りました。

8/25
(水)

温かいご支援、ありがとうございました
消毒液(過酢酸製剤)の寄贈がありました



津梁貿易株式会社(金城拓真代表取締役社長)が市役所を訪れ、JA全農と共同で消毒液を寄贈しました。金城代表は「寄贈させていただいた消毒液は、安全性が高く、手術室や食品の消毒にも使用される物となっています」と語りました。希釈された消毒液は1週間程度で効果が薄れる特長から、1カ月間、週に1回必要な量の消毒液を寄贈していただけることとなりました。

8/26
(水)

故・與那覇澄子先生から子どもたちへ
大謝名小学校へ図書購入寄附金の贈呈



教頭として赴任した大謝名小学校を最後に退職された、故・與那覇澄子さんの夫、朝一さんが松川市長を訪ね、妻からの遺言である大謝名小学校へ図書購入のための寄附金1千万円を託しました。朝一さんは「子どもたちのために、形になるような使い方をしてほしい、文庫を作ってもらえれば、子どもたちの教育に役立ったんだと天国にいる妻もホッとするとおもいます」と語りました。

8/27
(木)

温かいご支援、ありがとうございました
児童センターへ一輪車などの遊具を寄贈



元NPO法人オエステコスタ理事長の下地宏さまより、市内の児童センターへ一輪車などの遊具の寄贈がありました。下地理事長は「同法人はこれまで、市車いすマラソンの企画運営を受託するなど市の事業に長年、携わってきておりましたが、平成31年1月に解散を迎え、その清算金を活用して購入しましたので、児童の健全育成のために役立ててほしいです」と語りました。

9/3
(木)

飛衣羽衣カチャーシー大会への想い
沖縄県観光功労者表彰受賞を報告



飛衣羽衣カチャーシー運営委員会の新垣義夫前委員長が松川市長を訪ね、令和2年度沖縄県観光功労者表彰の受賞を報告しました。普天満宮の宮司である新垣氏は、同大会の運営委員長を20年以上も務め、沖縄県全体の観光振興に大きく寄与してきました。新垣氏は「今回の受賞は、運営に携わっていただいた先輩方や関係した全ての皆さまの賜物だと思います」と受賞の喜びを語りました。